

地域応援プロジェクト

山手町のために僕たち私たちにできること～安全・安心・絆を深めよう～

私たち1年生は、総合の時間に「山手町のために僕たち私たちにできること～安全・安心・絆を深めよう～」をテーマに学習しました。「地域で生活している人々はどんな思いでいるのだろうか？」という疑問を解くために、地域にある施設で働く人や使用する人にアンケートしました。

身体が不自由な人が困っていること

《災害の時に困っていること》

- ・山手町が、水につかりやすい。
- ・災害で安全に生活できない。
- ・避難場所が分からなかった。
- ・被災したとき何もしてくれなかった。
- ・逃げる時、早く逃げられない。
- ・すぐ対応できない。状況が把握できない。
- ・携帯を持っていない人は情報が分からない。



《普段の生活で困っていること》

- ・ブロックとフェンスで曲がり角がみにくい。
- ・子供や歩行者の飛び出しが多い。
- ・車がきちんと止まってくれない。
- ・道が狭い。
- ・交通量が多い。



盲導犬を連れている人の困っていること

- ・盲導犬を連れている人や障害を持っている人への理解が進んでいない。
- ・入店できないお店がある。

アンケート結果を通して、身体が不自由な人の困っていることがたくさんあることを知りました。このことを伝えるために、私たちはホームページやポスター作り、新聞作りをすることにしました。

まとめ

身体が不自由な人が、困っていることがたくさんあってびっくりしました。災害のときに困っていることを解消するには、身体が不自由な人が住んでいるところを把握して、すぐに助けられるようにすることが大切だと思いました。普段の生活で困っていることを、解消するには交通ルールをきちんと守ることが大切だと思いました。盲導犬を連れている人の困っていることを解消するには、盲導犬を連れている人を理解することが大切だと思いました。